

パブリックコメントの結果について公表します

○意見募集の概要

- ・ 案件名 「高山市産業振興計画」の見直し案（骨子）
- ・ 募集期間 平成26年10月15日（水）～平成26年11月14日（水）（31日間）

○集計結果

- ・ 意見提出人数（団体） 1団体
- ・ 意見数 1通

○提出された意見及び検討結果

意見の内容		検討結果及びその理由
1. 観光	1) 観光リピーターを増やす。 観光については外国人誘致はうまくいっているがそれだけでは不十分で新規客だけでなく魅力ある街づくりを行い国内外のリピーターを増やす必要がある。	① 日本人向：全国の天領都市等とネットワークを作り、相互にノウハウを共有するだけでなく、共同企画も考える。 ② 外国人向：JETRO と組んで各国での展示会、移動アンテナショップの開催 高山単独だと費用がかかるので天領ネットワークのメンバーと共催し、費用を最小に抑える。

・ 全国の自治体との連携については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、②戦略的な交流の推進、【取り組み】の4番目における広域連携や都市間交流など、多様な交流や話題のある観光地づくりに取り組む中で参考とさせていただきます。
・ 外国人向けの取り組みについては、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、③地域資源を活かした個性・魅力あるものづくりの促進、【取り組み】の4番目における海外への販路拡大に取り組む中で参考とさせていただきます。

	<p>2) 交通アクセスの大幅改革を行う。</p>	<p>① 長野県側中部縦貫道の整備により東京より車で3.5時間で高山に到着の実現。 4時間を越えると心理的に遠いと感ずる。 岐阜県、長野県の両県で推進できないか？</p> <p>② 東海北陸道を利用するデラックスバス（3人掛けでバス特有の狭さを解消し、高級感を持たす。コストはJRの2/3に抑える）を名古屋、富山より増便させ、高山へ来やすい環境を作る。 JRの運行状況は不安定で問題あり。</p> <p>③ 富裕層や多忙の人対象に丹生川の飛行場を利用したチャーター機のコンピューターサービスの実現の検討。</p>	<p>・交通アクセスの向上については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、②戦略的な交流の推進に取り組む中で、事業者との協議の参考とさせていただきます。</p>
	<p>3) 人口を増やす。 若者、中年、高齢者の全世代が高山に魅力を持つ環境を作る。 観光だけでなく働く場や学ぶ場、楽しむ場を作ることで市民はもとより他府県（外国人も考慮すべき）から高山へ移住をしたいというきっかけを作り、人口減少に歯止めをかける。 それには行政として地元愛のある若者の起業の働きかけ、地元が還元される仕組みづくりも必要。</p>	<p>① 学ぶ 大学招聘を行い、学生を増やす。 市民も参加できる四季に合わせた文化、伝統、スポーツにおける特別スクールの開校。 その他市民向け教養セミナー（特に高山市民は教養を高めるチャンスが非常に少ない）。</p>	<p>・大学誘致については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、⑥就労機会の拡大と労働環境の整備、【取り組み】の1番目において、若者のUIJTターン就職者や新規就農者、都市部からの移住者の増加に向けた取り組みを強化し、人材誘致に取り組むこととしています。 ・特別スクールの開校や教養セミナーの開催については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、①次世代を担う人材の育成、【取り組み】の1番目において、郷土愛を深め、多様な産業や伝統文化などにふれあえる学習機会の充実に取り組むこととしています。</p>

		<p>② 食べる</p> <p>魅力ある食文化を創る。</p> <p>地元素材の商品（飛騨牛、地元オーガニック野菜）、富山の魚を売り物にした市営レストラン（和食、中華、フレンチ、イタリアン、エスニック）を作り、若く有能なシェフを誘致する。</p> <p>現状の地元レストランを見る限り全てではないが一見の観光客相手を対象としているしか考えられない高く、品質レベルも低い料理を多く見かける。</p> <p>またお客さんを喜ばず努力もしていない感じがする。</p> <p>これでは観光客は満足はせず、2度と来たくない印象も持つ観光客も多数あるのではないかと前から危惧していた。</p> <p>また住民も当然満足はしていないと考える。</p> <p>旅行へ行っての食事の印象は記憶に良くも悪くも残るものから高品質でリーズナブルなコストの料理を楽しんでもらう環境も作る必要がある。</p>	<p>・市営レストランについては、設置の予定はありませんが、魅力ある食文化の形成については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、③地域資源を活かした個性・魅力あるものづくりの促進、【取り組み】の2番目における消費者ニーズを的確に捉えた付加価値の高いものづくり及び3番目における地産地消の促進に取り組むこととしています。</p>
--	--	--	---

	<p>③ 楽しむ、見せる</p> <p>楽しむ、見せることにより滞在型観光客を増やす。</p> <p>*現状の高山祭り、古い町並み、朝市</p> <p>*新たに高山駅に隣接した西側の場所に新しい文化会館を創ることにより文化スポットを創生する。</p> <p>これにより市民の教養を深めるだけでなく、観光客も絡めた文化（美術、音楽、芸能、映画、伝統など）が楽しめる施設を持つ。</p> <p>*高山で売っている土産品について形や名前は違うものの、どの観光地にいても売っているようなものが多い印象である。</p> <p>やはり地元の素材を生かした、高山に来なければ買えないというような土産品や特産品をもう一度考え直す必要がある。</p>	<p>・滞在型観光客の誘客については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、②戦略的な交流の推進、【取り組み】の1番目において、個性・魅力ある滞在型・通年型のハブ観光地としての位置づけを強化するとともに、歴史・文化や伝統産業などを活かした産業観光をはじめとしたニューツーリズムや飛騨山脈（北アルプス）に代表される山岳観光、教育旅行など、観光地としてのまちづくり推進に取り組むこととしています。</p> <p>・文化スポットの創生については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、④地域の特色を活かしたまちづくりの推進、【取り組み】の2番目において、魅力や文化力に満ち溢れた中心市街地の形成に取り組む中で参考とさせていただきます。</p> <p>・特色ある土産品や特産品については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、③地域資源を活かした個性・魅力あるものづくりの推進、【取り組み】の2番目において、消費者ニーズを捉えた商品づくり、3番目において、地産地消の促進に取り組むこととしています。</p>
--	--	--

		<p>* 高山城、松倉城の復活</p> <p>直ぐの実現は難しいとは考えるは、城山に高山城を、松倉山に松倉城を復元することにより付加価値を高めることができ、また観光客の行動範囲を広げる。</p> <p>これにより観光客の活動範囲を広げることにより滞在型観光客を増やしていく。</p>	<p>・高山城、松倉城の復元については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、②戦略的な交流の推進、【取り組み】の1番目における地域資源を活用した滞在型・通年型の交流拠点づくりに取り組む中で参考とさせていただきます。</p>
	<p>4) 飛騨内連携</p> <p>高山市が音頭を取って下呂市(温泉)、飛騨市(古川古い町並み、おこし太鼓、カミオカnde)、白川村(白川郷)のネットワークを作り今までの単発日帰り観光ではなく地元へ宿泊するツアーの企画を行う。</p>		<p>・飛騨内連携については、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、②戦略的な交流の推進、【取り組み】の4番目において、近隣自治体との広域連携に取り組むこととしています。</p> <p>なお、現在、高山市、飛騨市、下呂市、白川村で構成される飛騨地域観光協議会を設置し、相互連携による観光振興に取り組んでおり、新たな宿泊ツアーの企画についても、3市1村とJR東海で構成される飛騨観光宣伝協議会の事業推進において取り組んでいます。</p>

<p>2. モノづくり</p>	<p>モノづくりにおける飛騨の匠を大々的にPRする。きれいな空気、きれいな水、豊かな緑から生み出される高品質なモノを作ることに對する飛騨の匠の1300年の伝統とその精神性も訴求し、モノづくりでの生産人口の増加を図る。</p> <p>特に木、金属、水、土などの分野でのモノづくりの匠が多数いる産業はもう一面の高山市の顔であり観光とセットとしてPRをしていくことにより高山は古い伝統のある観光都市だけでなく、現代の最先端の技術を持った価値創造産業が存在するモノづくり都市のイメージもPRしていく。</p> <p>こうすることにより商工課が主導で支援する“産業観光”の概念も取り入れ、工場見学ルートも作る。各社のモノづくりがどのように行われ、どのような製品を作り、技術者の匠の技がそのように活かされているか、社会にどうやって役立っているかをPRし、ただ見るだけでなく業種によっては工夫して体験していただくことも取入れられれば更に良い。</p> <p>当地に息づく住民と訪れる人々との交流を通じて町の更なる活性化を図ることができるのと地域企業の積極性が地域を更に支えることになる。</p> <p>①木工（家具、春慶など伝統工芸を守る、革新する。かんばつ材の活用） ②金属（世界に冠たる摺り合わせ型精密機械、高精度部品製作など） ③水（長年の伝統と歴史を持つ多くの作り酒屋と飛騨の酒） ④土（渋草焼きなど高品位陶磁器の復活）</p>	<p>・モノづくりにおける飛騨の匠のPRについては、6. 産業振興のための基本的方向、2) 視点と取り組み、②戦略的な交流の推進、【取り組み】の1番目における産業観光の推進、及び③地域資源を活かした個性・魅力あるものづくりの推進に取り組む中で参考とさせていただきます。</p>
-----------------	--	--

○問合せ先

高山市商工観光部商工課

電話：0577-35-3144 FAX：0577-35-3167

E-mail：syoukou@city.takayama.lg.jp